



平成30年度 第2回学校評議員会 記録（概要）

平成30年8月22日 19:00～20:00

1. 校長あいさつ

2. 学校運営報告

（1）校長より

松南小学校は、落ち着いていると言われ続けており、授業にも集中して取り組んでいる。今年度は、子どもを鍛える段階にきており、教師が取組をやりきる、そして、指導の検証を行うことが必要である。授業作りシートや検証問題に取り組むことで、確かめる意識を持ち、授業力の向上を目指している。

（2）前期学校評価の結果（教頭）

前期学校評価を活かして、後期に向けて学校全体で取り組み、改善を図る。

・学校が楽しい

保護者評価が **96.8%** と高く、児童が楽しく学校に通ってきていることはうれしい。しかし、残りの **10%** の児童が楽しいと思えるような工夫、働きかけを行い、楽しいと思える児童をさらに増やしていきたい。

・発信する力

・説明する力

説明することに苦手意識がある児童がいるため、様々な学習形態を取り入れながら、自分の意見をはっきり言える子を目指して学校研究を進めていきたい。

・読書習慣

・できるようになる授業

・あいさつ

・食への感謝

・柔軟性・投げる力

・安全

三者が低い評価である。「お家で読書」「週末読書」などの取組を継続していく。

どの児童も評価が高く、児童の日常的な実感を伴った評価であると思われる。

年間を通して、体育の時間に柔軟運動を取り入れ、学校全体で継続して行っていく。

ヘルメットの所持率・着用率は上がっている。まだ、持っていない児童には購入を呼びかけ、家庭にも協力、声かけをお願いする。

（3）学力調査結果（教務）

全国平均と同様に、根拠を明確にして、書いたり、説明したりする力が不十分であるという傾向が見られた。活用問題が県平均よりやや上回っていることから、『主体的に考え、深め合う子～「発信する」活動を通して～』をテーマに取り組んでいる学校研究が実を結び始めていると実感している。また、基本的な学習用語の定着に向けて、全学年の基本的なプリントを復習するなど朝学習、補充タイムを有効に活用している。児童の学力向上に向けて、学校研究、学力向上チームが連携して全校体制で取り組んでいく。

3. 意見交流・質疑

評議員 インターネットで何でも分かる時代だが、読書はいつの時代も大切ではないか。

評議員 高学年の子で、ヘルメットをかぶっていない子もいる。近所の知っている子には声かけをしている。かぶっていない子へ地域で声かけが必要だと思う。

評議員 学校が楽しい児童が多いことがうれしい。また、学校が残りの **10%** の子に目を向けてくれていることがとてもうれしく、安心した。

評議員 うさぎを新しく迎え入れたが、何年生が世話をしているのか。

教務 飼育環境委員会の **5.6** 年児童がお世話をしている。

4. 閉会

本日の御意見を参考に、今後の学校運営に活かしていきたいと思います。